

# 「もしも」に備える! 自分や家族の命を守る



年々大型化する台風。次々と発生する発達した雨雲帯線状降水帯により断続的に降る雨。局地的な豪雨がもたらす河川氾濫や土砂災害など、全国各地で水による被害が発生しています。

今年も、7月3日～31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など全国各地で記録的な豪雨に見舞われました(令和2年7月豪雨)。河川の氾濫や土砂災害で、多くの人的被害や、家屋、ライフライン、地域産業などにも甚大な被害をもたらしました。

私たちも、「もしも」のために非常時への備えを怠らないように準備しておきましょう。

## 風水害から確実に避難する

集中豪雨などで、今降っている雨がどの程度危険か直感的に分かるように、昨年から大雨洪水の警戒レベルの運用が始まりました。住民がとるべき行動を5段階に分け発信しますので、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、早めの行動を心掛けましょう。

▼防災対策課  
☎ 23・3548  
FAX 23・0180

平成21年台風18号の際の様子

## どこから情報を集めるか確認しよう

### ①大雨・洪水警戒レベルの情報

「警戒レベル」は、台風が接近している場合などの大きな災害発生が予想される際に避難を呼び掛けるときにも使用する場合があります。

これらの情報を確実に受け取ることが、あなた自身や大切な家族を危険から守るために必要な避難行動を起こすための目安となります。気象庁のHPなどから確実に情報をキャッチし、適切なタイミングで躊躇なく行動を起こしてください。



警戒レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害がすでに発生しており、命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から全員避難	避難勧告、避難指示(緊急)
3	危険な場所から高齢者などは避難 他の住民は避難準備	避難準備・高齢者等避難開始
2	ハザードマップなどで避難行動の確認	注意報
1	最新情報に注意するなど災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)

### ②台風に備えるための情報

台風が発生した場合、5日先までの予想進路が気象庁のHPに発表されます。暴風域に入る確率や時間帯、風雨が強くなる時間も発表されますので、避難行動を起こす目安に活用してください。



### ④災害時に役立つ情報

スマートフォンをお持ちの方は災害時に役立つアプリも活用しましょう。

○Yahoo!防災速報  
緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でいち早く知ることができます。



○停電情報お知らせサービス(中部電力)

地域を登録するだけで停電情報をプッシュ通知でいち早く知ることができ、地図で停電発生エリアを確認できます。



### ③大雨や土砂災害、河川情報

警報発表の危険度や種類、今後の降雨状況、警戒レベルの色別で土砂災害や河川の洪水の危険度も知ることができます。普段からどんな情報があるか確認しておくことで、いざという時の素早い判断につながります。

↓①～③の情報はこちらから



気象庁HP  
(台風情報)